

「ゆうゆう北久里浜だより」



月見

今年の10月4日の十五夜は雲が多く、ほんの少しの時しか月は見えませんでした。ナーシングホームの皆様も中秋の名月を眺めました。月の満ち欠けなどを用いて暦を計算した旧暦では、人々の生活と月は密接につながっていました。特に農作業に従事する人々は欠けたところのない満月を豊穰の象徴とし、秋の収穫の感謝を込めて芋や豆などの収穫物を月に供えました。しかし、稲穂はまだ穂が実る前の時期であることから、穂の出たすすきを稲穂に見立てて飾ったと言われていました。

魔除けとしての意味みすすきにはあり、古くからすすきは神様の依り代と考えられていました。茎が中空（内部が空洞）のため、神様の宿り場になると信じられていたのです。また、すすきの鋭い切り口は、魔除けになるとも考えられました。そのため、お月見のすすきには悪霊や災いなどから収穫物を守り、翌年の豊作を願う意味が込められています。地域によってはお月見に飾ったすすきは捨てず、庭や水田に立てたり、軒先に吊ったりして、災いから田や家を守る風習が今でも残っています。

お買い物サロン



ホームの中にお店を開き手に取りながらゆっくりと買物をして頂きました。洋服や靴、下着から雑貨まで種類豊富な品ぞろえで自分の好みの物があるか熱心に探されていました。

ランチツアー



葉山にある鳥ぎんに出かけて、釜飯と焼き鳥などを味わって頂きました。サラダもついてバランスもボリュームもある料理を堪能して頂きました。

車椅子ダンス



車椅子で出来るダンスを入居者の方々も実際にリズムに合わせて身体を動かして運動して頂きました。

バーベキュー



4階のテラスでウインナー入りの、焼き立てであつあつの焼きそばをおしゃべりとともに楽しんで頂きました。

名所紹介

信楽寺



坂本龍馬の妻・おりょうは、寺田屋騒動の折、龍馬の危機を救った女性として広く知られています。人生の後半生33年間を横須賀で過ごしたおりょうのお墓は、現在、大津信楽寺（しんぎょうじ）にあります。毎年秋には、おりょうさんまつりとして墓前祭とおりょうさんを偲び月琴（げっきん）の演奏会が開かれています。卓球のラケットをわらじに持ち替えて行う「おりょうと龍馬の全日本わらじ卓球大会」。も開催します。

お知らせ

◆ 10月アクティビティ予定

- ・ランチツアー
- ・散歩
- ・喫茶ツアー
- ・秋の運動会
- ・民謡教室
- ・書道教室 敬老の日
- ・お茶会
- ・詩吟教室
- ・風船バレー
- ・ゆうゆう音楽会
- ・カラオケの会
- ・ハロウィンパーティー

聖徳太子が9月15日に大阪に四天王寺を建立し四箇院(病院・薬局・身寄りのない方の施設のまとまったようなもの)の制を実施したことから始まったという説があります。月18日の敬老の日にお祝い膳や心ばかりのプレゼントなどでお祝いをしました。



ナーシングホーム 北久里浜

〒239-0807

横須賀市根岸町3-2-14

電話 046-838-5778